

投稿原稿チェックシート

1. 論文投稿について	チェック
本論文は「痛みと漢方」をテーマにした論文ですか。	
本論文は、他誌に投稿済み、あるいは投稿予定はありませんか。	
倫理上の配慮は十分になされていますか。	
患者の個人情報保護についての記載がありますか。	
投稿に際して、共著者間の同意と配慮は十分になされていますか。	
「筆頭著者の利益相反自己申告書」にご記入頂きましたか。	

2. 投稿原稿について	チェック
原稿は、パソコンまたはワープロを用い、A 4 用紙 1 頁 40 字× 30 行になっていますか。	
タイトルページ・本文・要旨・索引用語・文献 合計 () 枚	
原稿は、図表含めて 2 部 (オリジナル十コピー 1 部) をご用意頂きましたか。	
論文種別は、総説・原著・症例報告・臨床経験・短報のいずれかを記載していますか。	

3. 投稿原稿様式について	チェック
タイトルページ	和文・英文とも記載してありますか。(表題・著者名・機関名・所属・住所) 所属・機関名が複数の場合、著者名と所属・機関名に*1. *2...を付し、対応させていますか。
本文	外国語は、普通名詞については文頭は大文字、文中は小文字、固有名詞については大文字になっていますか。
	略語の初出時は「正式名(略語)」とし、2 回目以降は略語のみになっていますか。 例) Visual analogue scale (VAS) / 口腔灼熱症候群 (Burning Mouth Syndrome, 以下 BMS)
	薬品名は一般名を用い、商品名は一般名の後に「一般名(商品名®)」のように記載していますか。 例) ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液 (ノイロトロピン®)
	漢方薬の記載は例に準じていますか。 例) 葛根湯 (TJ-1) 7.5 g, 分 3 / 日
	漢方薬名, 東洋医学用語等の漢字表記は合っていますか。(ワープロで表示できない場合は, 説明を添えて下さい)
和文要旨概ね 400 字以内, 英文 abstract 概ね 200 語以内で記載していますか。	
和文索引用語 3 ~ 5 語以内, 英文 key words 3 ~ 5 words 以内で記載していますか。	
英文 abstract は英語に精通した日本人またはネイティブのチェックを受けましたか。	
著者連絡先 (校正送付先) は記載してありますか。	
図・表・写真	タイトル・説明文はついていますか。 本文中に図・表・写真の挿入個所を明記していますか。

*論文作成の際、ご参照下さい。

- はじめに：なぜこの論文を書いたかの主旨を簡単に書く。
- 対象・症例など：投稿規定の内容に従って箇条書きにしてからまとめてゆく。
- 治療経過・方法：時系列で記載する。または部位・検査項目・症例ごとにまとめて記載する。
- 結果：具体的・客観的記載を心がける。
- 考察：「はじめに」と著明な重複はないか。
漢方薬を選択した理由、効果の有無とその理由を起承転結に従って記載する。
- まとめ：論文の意図を記載する。
- 文献：記載例
【雑誌の場合】永田勝太郎, 長谷川拓也, 岡野 寛, 他：患者の自律性に従った癌治療— salutogenesis の視点から。痛みと漢方 14 : 66 - 70, 2004
【書籍の場合】田畑隆一郎編著：柴胡桂枝乾姜湯。漢法ルネサンス, 源草社, 東京, 313, 2002.
雑誌の省略名は, 医学中央雑誌または Index Medicus style とする。